

安全な雪下ろし8つのポイント

屋根の雪のゆるみ、天候に注意

- 暖かい日は、屋根が滑りやすく危険です。晴れの日には要注意！曇り空で、できれば雪の固い午前中に
- 雪解け水や雪が動く音に注意
- 強風や大雪など悪天候のときは控える

命綱を必ず使用

- 命綱にはザイルや麻ロープを使用
- 命綱は専用のアンカーで固定し、固定する場所は、状況に応じて工夫
- 安全帯など幅広いもので体に固定
- 命綱は「もやい結び」で、屋根の上で止まる長さに

使いやすい除雪用具を

- 軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップやスノーダンプで
- 雪が付きにくくなるスプレーが便利

無理な作業はしない

- 体調が悪いときは控える
- 準備運動と適度な休憩、水分補給を
- 作業開始直後と疲れた頃は慎重に
- 危険を感じたら、スコップ等を離して身を守る
- 低い屋根でも油断は禁物。経験や体力を過信しない

詳しくは、雪下ろし作業の注意点をまとめた「雪下ろし安全ガイド」をご覧ください。



岩見沢市 雪下ろし安全ガイド 検索

安全な服装で

- ヘルメットを必ず着用
- 着ぶくれしない動きやすい服装で
- 足裏の感触が大事。厚底の長靴は避ける
- 滑りにくい防寒性のゴム手袋を使用

はしごはしっかり固定

- 足元をしっかり固め、はしご上部をロープで固定
- はしごは屋根に対してまっすぐに、角度は75度程度でかける
- はしごの昇り降りに注意
- 除雪用具はロープで上げ下げ

作業は二人以上で

- 携帯電話を持って
- やむを得ず一人で言う場合は、家族や隣近所に声をかけ、様子を見てもらう

足場には常に注意を

- 落雪に巻き込まれないよう屋根の高いところから作業を
- 雪止めから下には足場を作らない
- 軒先の雪は最後に落とす



雪下ろし安全装備 (安全帯、命綱、ヘルメット)

雪下ろし事故を防ごう
 屋根の雪下ろしは、非常に危険な作業です。自分で作業を行う場合は、雪による危険を取り除くためだけにし、安易な気持ちで雪下ろしを行わないようにしましょう。
 作業を行う場合は、左記のポイントを確認しましょう。



作業に不安を感じたら、無理に行わず、業者に依頼することも考えましょう。
 また、「高齢者世帯等雪下ろし助成制度」や「雪下ろし安全装備の貸し出し制度」も活用しましょう。
 詳しくは、市ホームページまたは広報いわみざわ1月号をご覧ください。

空き家の適正な管理は、所有者の責務です

空き家は個人の財産であるため、所有者が適正に管理することが大原則です。屋根雪の落雪や積雪による倒壊などにより、隣家や歩行者等に損害を与えた場合、所有者は被害者から損害賠償などの管理責任を問われることがあります。

適正に管理されていない空き家には、「岩見沢市における空き家等の適正な管理に関する条例」に基づき、所有者への注意喚起や改善に向けた指導を行います。また、倒壊や事故の発生が予想される場合は、市が必要最低限の措置をする場合がありますが、措置に要した費用は空き家の所有者に求めます。

空き家を所有する方は、屋根雪の落雪などが発生しないよう適正な管理をお願いします。

問合せ先 市民連携室市民連携係



空き家の屋根雪が落ちて道路に...



落氷雪事故を防ごう

毎年、屋根からの落氷雪による事故が発生しています。次のことに注意し事故を防ぎましょう。

- * 屋根の雪や氷、つららが道路に落ちる建物には、事故防止のための雪止めを設置してください
- * 雪止めを設置している場合、老朽化による事故が発生しないよう必ず点検・修繕してください
- * 落氷雪事故は、暖かい日に発生しやすいので、特に注意してください
- * 気温が高くなる予報が出た場合、前もって屋根などの雪や氷、つららを落としてください
- * 高所からの落氷雪は、少量でも危険です。早めに処理してください
- * 軒下を通るときは、屋根からの落氷雪に注意してください
- * 軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないでください
- * 落氷雪があった時は、直ちに事故がないか確認し、道路の通行に支障がないよう速やかに除雪してください

交通事故や交通障害を防ぐため、屋根からの落氷雪や敷地内の雪を道路に出さないでください

この時期、積雪が最も深くなります。さらに、春に向けて暖気が増えることが多くなり、屋根雪による事故が起こりやすくなります。自宅はもちろん、外出の際にも注意が必要です。また、建物の倒壊事故を防ぐため、空き家を所有する方は適正な管理をお願いします。
 問合せ先 市除排雪対策本部
 ☎ 22局 8400

